

トキ

Nipponia nippon (Temminck)
ペリカン目・トキ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅

旧：県域絶滅

【環境省カテゴリー】野生絶滅

選定理由

本県では、江戸時代に生息していた記録があるが、明治以降の狩猟で激減したと推察される。1957年の日野川久喜津橋周辺の銃殺死体（剥製は福井市自然史博物館に収蔵）の回収後は、確かな記録がなく絶滅した。佐渡での放鳥事業開始後は、2010年に福井市で1例の飛来記録がある。

種の特徴

全長76.5cm、下に曲がった長い嘴と赤い顔、風切羽のトキ色が特徴的である。主に、水田、湖沼、河川等の湿地に生息し、湿地を歩行しながら、ドジョウ、カエル類、甲殻類、貝類、ミミズ、昆虫類を捕食する。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																	●

カリガネ

Anser erythropus (Linnaeus)

カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

東アジア全体で14,000羽と推定され、絶滅の恐れがある。日本には少数が飛来するが、減少傾向にあるため、国の第4次改訂では絶滅危惧ⅠB類にランクアップした。本県でも、1992年以降はほぼ毎年飛来記録があったが、2008年以降は記録がなく、絶滅が危惧される。

種の特徴

全長58.5cmで、マガソによく似ているが小さい。そのほか、嘴が短く淡紅色であること、黄色のアイリングが目立つこと、成鳥では額の白色部が大きいこと等の違いがある。越冬地では、マガソと同様、水田で落穂や二番穂、水田雑草等を採食する。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○		○				

亞種オオヒシトイ

Anser fabalis middendorffii Severtzov

カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

日本で越冬する約2万羽のヒシトイのうち、半数以上が亞種オオヒシトイであると言われている。かつては九頭竜川下流域とその周辺の水田に、300～500羽前後の個体群が越冬していたが、近年では、数十羽程度に激減し、飛来状況が極めて悪化している。

種の特徴

全長90～100cm、亞種ヒシトイより大型で首と嘴が長い。体は黒褐色で、上・下尾筒は白く尾羽は灰黒色で先は白い。足は橙色で、嘴の大部分は黒く、先端付近で橙色の部分がある。越冬地では河川や沼沢地で、マコモの根茎やイネの落穂や二番穂、雑草等を食べる。

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○										○						

分 布

江戸時代には全国の水田に生息したが、1981年に野生下で絶滅。本県では1900年以降、銃殺例以外に、未確認ながら1910年の1羽の捕獲例と1957年の5羽の飛翔記録がある。

絶滅した要因

湿田や湿地を好むため、乾田化や湛水休耕田の減少には大きな影響を受ける。また、ネオニコチノイド系農薬が、本種の不妊原因になっているという報告もあり、湛水休耕田と無農薬・減農薬の拡大が、本種の再生には必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県（2002）、福井県自然保護センター（1997）、大西ら（2014）、高野（2015）、中村・中村（1995）、徳本ら（2014）

アカウミガラス

Anser albifrons (Linnaeus)

カモ目・カモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

選定理由

日本で越冬する約2万羽のヒシトイのうち、半数以上が亞種オオヒシトイであると言われている。かつては九頭竜川下流域とその周辺の水田に、300～500羽前後の個体群が越冬していたが、近年では、数十羽程度に激減し、飛来状況が極めて悪化している。

種の特徴

全長90～100cm、亞種ヒシトイより大型で首と嘴が長い。体は黒褐色で、上・下尾筒は白く尾羽は灰黒色で先は白い。足は橙色で、嘴の大部分は黒く、先端付近で橙色の部分がある。越冬地では河川や沼沢地で、マコモの根茎やイネの落穂や二番穂、雑草等を食べる。

分 布

本亞種は太平洋側に少なく日本海側に多い。秋田・新潟に数千羽、北陸・山陰・滋賀に数百羽飛来する。本県では九頭竜川下流部で越冬するが、三方湖周辺に飛来したこともある。

生息を脅かす要因

主にマコモ等の抽水植物を採食するため、水生植物群落の消失が生息を脅かす最大の要因である。九頭竜川下流域のマコモ群落の保全再生、周辺の湛水水田化と二番穂育成、安心して採餌できる環境保全のための道路整備制限と鳥獣保護区指定等が必要である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1998）、福井県自然環境保全調査研究会（1999）、福井県（2002）、高野（2015）、吳地（2006）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○										○						